

令和6年度(前期日程)

入学者選抜学力検査問題 英語 出題意図

I 【内容把握に関する択一式と記述式を組み合わせた英問英答問題】

色の知覚に関する英文を読み、要点を正確に把握できるかを問う問題群。色は長い間、ものごもつ物理的な属性／特性、あるいはものから反射される光のように客観的なものだと考えられてきた。しかし、実際には個々の人間や動物の知覚によって感知される主観的なもので、色の区別はそれぞれの言語や社会・文化的伝統、および普遍的な連想等に影響されているという。受験者は、著者が述べる色の知覚の特徴を把握し、30語～50語程度の自分の言葉で要約することが求められる。また全体の要約の空所補充問題や択一式問題、正誤問題を通して、本文全体の主旨が把握できているかどうか問われる。

II 【英文の内容を把握し要点を日本語で答える記述式問題】

ピーターラビットの物語のルーツに関する英文を読み、要点を把握できているかを問う問題群。民話とポストコロニアル文学研究者である著者によれば、ビアトリクス・ポターの作とされるピーターラビットには、元になった物語が存在したという。それは、アメリカ人作家兼ジャーナリストのジョエル・チャンドラー・ハリスが描いたブレアラビットの物語であったが、ハリスの物語もまた、アフリカから連れてこられ綿花栽培のプランテーションで奴隷として働かされていた人々の民話を元にしたものだった。元の民話に出てくるトリックスターは自分より強い相手を知力で負かすが、このストーリーは、奴隷となった人々が、過酷な環境を生き延びるための抵抗の戦略を具体的に教えるものであった。著者は、ポターが自作の物語の起源を隠ぺいしたことを問題視し、現在につづく「文化の盗用」に繋がっていると指摘している。ポターがハリスの作品を入手できた経緯や、民話とブレアラビットの物語とピーターラビットという三つの物語の類似点と相違点や、ポターの行為の何が問題かを理解して説明することが求められる。

III 【英語による論述問題】

与えられた命題に関する自らの考えを具体的な例や経験などで裏付けて正当化することを求める問題。150語から200語程度で答えることが求められるが、重要なのは内容であり、所定の回答欄に記入できていれば、語数を意識しすぎる必要はない。

次の4つの観点で評価する。

- (1) 関連性: 課題を達成するために、議論の展開をサポートする考えや例などを効果的に用いているか。
- (2) 論理構成: 文をつなぐ語句を適切に使い、論理的に一貫性のある文章を構成できているか。

- (3) 語彙・文法:幅広い語彙や多様な文構造を用いて伝えるべき内容を適切に伝えられているか。
- (4) 全体構成:出題の意図を正しく理解した上で、まとまりのある構成で説得力のある文章が書けているか。